



# 第105回 春季大会 ベスト8入り決定 最終回同点に追い付き、サドンデス勝ち

## 埼玉新聞スポーツ

川口少年野球  
本部長杯争奪戦大会

川口市少年軟式野球連盟  
スポーツ少年団の第105  
回本部長杯争奪戦大会(埼  
玉新聞社など後援)は2、  
3日、神根グラウンドなど  
で閉会式と1、2回戦の計  
18試合が行われた。

開会式では、中野亭会長  
が「新チームの1年間は始  
まる。被災地の子ともた  
ちも春の大会を待っていた  
でしょう。君たちの元気が彼  
らに届くよう最後まであ  
きらめないプレーを期待し  
ている。選手たちを激励し  
岡村幸四郎市長ら来賓があ  
いさつをした。

続いて、西村猛(川口ロ  
ドラゴンズ)、紺野颯(川口シ  
ヤークス)、西野和輝(前川  
ジャガーズ)、山口慶太(北  
川口アタッカーズ)、田村裕  
夢(北園キングホークス)  
の5選手が団員綱領を朗  
読。川口レッドホークスの  
宇田川春樹主将が「支えて  
くれるすべての人に感謝  
し、最後まであきらめず感  
動できる試合をします」と  
選手宣誓した。

2回戦で、西川口タイガ  
ーズが川口ポニーズに17-  
0で圧勝。芝富士ジャイ  
アンツは川口レッドホーク  
スをサドンデスで下し、8強  
入りした。

1回戦では、川口ドラゴ  
ンズが中央グッドボーイズ  
を8-2で退けたほか、戸  
塚イーグルス、前川パン  
ピーズ、戸塚ジャガーズ、青  
木サンガース、川口グッド  
ボーイズ、北川口アタック  
ーズが2桁得点で大勝し  
た。

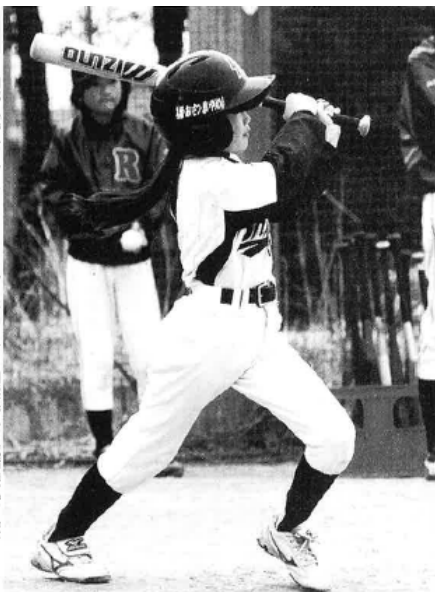
## 芝富士も8強入り



芝富士ジャイアンツ  
3018  
8020  
1010

川口レッドホークス  
(芝富士ジャイアンツのサ  
ドンデス勝ち)  
(芝) 布田律、白幡大、白幡大、  
布田律  
(川) 宇田川、松本幸、松本純  
▽三塁打 布田律(芝)

## 劇的6点差追い付く



2回戦 芝富士ジャイアンツ-川口レッドホークス、4回裏芝富士が逆転、安田歩が中前通打を放つ瞬間

試合前日の練習で、キャッ  
チャーの白幡(昌)が左手を  
捻挫。昔の足負傷。北川の  
右膝痛と、内野陣が手薄  
状態で臨む事になっただ  
試合。

1回表の攻撃で3点を得  
点するも、その裏、ピッチ  
ャーの布田(律)の大乱調  
で8点を取られる。この  
後、失策が続ぎ敗戦濃厚  
となった。

最終回の攻撃も2アウト  
ランナー無し。得点差は6  
点。もう後が無い状態と  
なった。ところが、相手  
ピッチャーの突然の乱調で、  
満塁になった。直後、白幡  
(大)のタイムリーヒットと、  
布田(律)の2塁打で、1点  
差までに追付いた。  
(新聞記載へ続く)

6点差を追い付いた芝富士ジ  
ャイアンツがサドンデスの末、  
川口レッドホークスを下した。  
4-10の四回2死走者なし。  
試合時間はすでに1時間20分が  
経過し、このまま進めば規定に  
よる時間切れでゴールドが成立  
する後がない状況だった。しか  
しここから粘りを見せた。

後続の3人がボールをしま  
りで見極め四球を選んで満塁の  
好機をつくると、白幡大貴が右  
前へ2点タイムリー、布田律夢  
が中越え適時三塁打を放つなど  
し1点差。なおも満塁で安田歩  
未が中前に弾き返し同点とし  
た。

同点打を放った殊勲者は「み  
んなのために頑張ろうと思っ  
た。打ったあとみんなからの  
ナイスバッティング」という  
声があつた」と喜んだ。  
今季初戦で劇的な勝利を飾っ  
た高原敬二監督は「最後までよ  
くあきらめなかった。この勢  
いで次の試合も勝ちたい」と意気  
込んだ。(金子洋平)

本日の殊勲者はキャッチャーの  
布田(昌)に違いない。4年生な  
がら、急速キャッチャーを務め、  
同点で迎えた最終回の守備で  
は、2アウト満塁の局面で、パ  
スボールしてならない場面、パ  
スボールしてなかった。あ  
る、サドンデスのスコアは10-2  
で勝利したが、この得点差は芝  
ジャンの実力ではなく、相手の  
ミスである。昔と北川が復帰し  
た内野陣、つまり、真の芝ジャン  
の実力を見てみたい。

### 集まれ元気な小学生(1年生以上の男女)! 団員募集中!!

スポーツをとおして健全な心と体を育成します。

申込み先：池田正隆(事務局)  
TEL090-4014-4615